

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (☎080-4540-3553)

## 高蔵寺ニュータウン再生市民会議が第12回定期総会 さらなる活動展開へ英知結集を

高蔵寺ニュータウン再生市民会議（愛称・どんぐりs）の第12回定期総会が5月26日、東部市民センターで開かれ、「高齢化する役員の負担軽減を図る一方、他団体・組織との連携を進める」との新年度活動方針を了承した＝写真。総会后、歌手の田中由美子さんを中心に「うたごえサロン」を催し独唱や斉唱で盛り上がった。

冒頭に藤城理事長が「本会も岐路に立っている。会員の減少や高齢化が進む中で来期をどう進めるか英知を出し合いたい」と厳しい現状の課題を指摘した。活動方針では、活動の柱であ

どんぐりsから

### この1年をどう乗り切るか

●役員会では、昨年末から、理事長の退任願提出や役員の高齢化といった問題に答えを出すべく、今後の「どんぐりs」の活動と組織のあり方について検討を重ねてきました。その結果、基本的には現在の組織体制で、活動内容を縮小する一方で、新たな試みを取り入れるという、この1年間の基本方針が確認されました（“ふれあいだより”111号の「役員会から」参照）。●その結論に至った背景には、何とか“まちづくり”を謳うNPO法人を持続させたい（させなければならない）という役員の高齢化と熱い想いがあったように思います。微力かも知れないが、何かできることがないか、自らが行動できなくても志を同じくする団体や活動を支援する、そうした活動も大事なのではないかという認識です。●その意味で、別稿に紹介した「ハート・ほっと・ルーム」や、新生なった「高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会」、「魅力ある高森山公園をつくる会」の支援を大事にしながら活動していきたいと思っております。ご支援をお願いします。（理事長・藤城 栄一）



る「どんぐりsカフェ」を月1回から、原則として2カ月に1回として多様なカフェの形式を模索する。一級建築士らによる「すまい困りごと相談」は、電話などで対応する常設とし、面接相談は月1回とする。「暮らし相談」も常設化し、産業カウンセラーらの「ハート・ほっと・ルーム」を毎月1回開く。また、「ハナモモ桃源郷の会」（旧「高森台県有地の活用を提案する会」）や高森山の活用を目指す「魅力ある高森山公園をつくる会」などの支援と連携を強化。さらに活動を展開するために女性や若い世代が参加できる企画を考え、活動の担い手として育てていく、としている。（明賀 雄二）

### 6月の「高齢者・すまい無料相談」

●お電話か又は直接面談会場にお越しください  
☎080-4540-3553（どんぐりs事務局）  
面接相談会：6月9日（日）13：30～16：00  
会場：東部ほっとステーション  
（サンマルシェ南館1階）

### 第一回「ハート・ほっと・ルーム」

日時：6月23日（日）13：30～15：30  
会場：東部ほっとステーション  
問い合わせ先：☎090-6330-4393（浪川）  
参加費：200円、当日受付（裏面参照）

# 「市民の会」が名称を変更 「ハナモモの会」です

「高森台県有地の活用を提案する市民の会」（略称：市民の会）が、5月19日の第7期通常総会で名称変更が承認され、新しい名称の「高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会」（略称：ハナモモの会）に生まれ変わった。

市民の会が発足したのは2012年。2014年、県有地内に高齢者福祉施設「どんぐりの森」が開所し、その外周道路斜面へのハナモモ植栽を提案したところ、関係者の何回かの打合せの結果、合意に達し、ここによく具体的な活動がスタートし始めた。この3年で植えたハナモモは240本にのぼる。今年度は隣接した、県コロニー再編成によって生まれた知的障がい者施設「養楽荘」西斜面への植栽を計画している。

県有地を取り巻く環境も急激に変わりつつある。当会の活動の範囲を県有地に限定しない方が活動しやすくなり、また活動実態が誰にでも分かりやすい名称のほうがいいのではないかと、この思いから名称変更を踏み切った。これを機に更に活動範囲が広まり、ハナモモ桃源郷実現の日が近づくことを期待したい。（寺島 靖夫）



白馬村の一本桜（長野県・白馬村） 森 健

## 悩みや辛さ語り合おう 「ハート・ほっと・ルーム」開設

生きていく上で、だれでも悩みや生きづらさを感じることもあるかと思います。この様な時、一人で悩まず、話す相手がいるということが、人生にとって大きな強みになります。話すことでご自分の想いや考えが整理されると共に自分自身の体験や経験だけの価値観だけでなく、より多くの方達の考えを聴くことによって、自分自身の中で、今までに無かった気づきが生まれます。核家族化が進み、家族の中でも人間関係の希薄さを感じる様になって来ている現在、この様な温かい雰囲気の中で、自由に何でも話せる場が、私達には必要になっていると思います。

「ハート・ほっと・ルーム」はその様な場を提供するところです。悩みのある方も、そして今は悩みを感じていない方も、是非一度ご参加いただき、この様な雰囲気を味わっていただきたいと願い、「ハート・ほっと・ルーム」を開設致します。（ここでの話には守秘義務があります）。皆様のご参加を心からお待ちしております。  
（浪川 昇三）

私の朝・昼・晩

### 我が家の改修

すでに30年以上たっている自宅の部分改修に踏み切った。水回りが一番古くなっていたのでまず候補に挙げ、それ以外のところでは、先のことを考えて浴室の段差をなくし、また出入口は引き戸にし、手摺なども多めに取り付けた。庭にはコンクリート製のテラスを設けて、居間との高低差を少なくして洗濯物の出し入れをしやすくした。

さらに庭に生える草木の手入れが大変になってくるので、建物の周りに防草シート上に砂利を敷いた部分を作り、草花が植えてある場所と区別化した。耐震性も心配だったので、友人に頼んで検討してもらったが、まずまずの結果が得られた。工事の量は多くなかったものの何かと苦労があったが、無事完成してみると、居間からの見晴らしもよくなり、風もよく通るようになったと思う。

持ち物の断捨離が盛んに言われているが、住んでいる家も少しでもシンプルにして、使いやすくするのも、これからの生活にとっては大事なことだと実感した。（長谷川 光男）